

(別記様式第26号)

## 奨学金返還猶予願(記入例)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

公益財団法人群馬県教育文化事業団理事長 あて

本人	奨学生番号	123-45-678910		
	出身学校名	群馬県立赤城高等	学校	普通科
	住所	〒371-0801	前橋市文京町2-20-22	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 一郎		印
連帯保証人 (親権者)	住所	〒	同上	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 父朗		印

下記のとおり奨学金の返還期限の猶予を受けたいので申請します。

### 記

返還猶予事由 (いずれかを○で囲む)	<input checked="" type="radio"/> 在学 ・ 災害 ・ 傷病 ・ 外国留学等 ・ 生活保護 ・ 進学準備中 就職活動中 ・ 低収入 ・ 産育休中 ・ その他 ( )
返還猶予申請期間 (返還方法を○で囲み 回数を記入のこと)	年賦 × 8 回分 ( <u>2019</u> 年 1 月 ~ 2022 年 12 月 ) <input checked="" type="radio"/> 半年賦 ↑ 次回返還年月
理由 (返還猶予事由に 該当する状況を 記入のこと。)	<b>〇〇大学に入学したため、4年間の猶予を申請します。</b> <b>(〇〇大学△年に在学中のため、×年間の猶予を申請します。)</b> <b>※学生証の写し又は在学証明書を添付してください。</b>

※1 この猶予願は、次回返還期日の2ヵ月前まで(在学猶予の場合は原則として4月中)に提出してください。

※2 返還猶予事由が「その他」の場合には、事前に事業団に相談してください。

※3 返還猶予申請期間は、返還期日の何回分かを記入してください。

猶予期間は、通常1年以内(年賦の場合は1回分、半年賦の場合は2回分)ですが、在学猶予の場合には在学期間(4年制大学の場合は4年間=年賦の場合は4回分、半年賦の場合は8回分)の猶予が可能です。

※4 添付書類として、猶予事由を証明できるものを添付してください。

(別記様式第26号)

### 奨学金返還猶予願(記入例)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

公益財団法人群馬県教育文化事業団理事長 あて

本人	奨学生番号	123-45-678910		
	出身学校名	群馬県立赤城高等	学校	普通科
	住所	〒371-0801	前橋市文京町2-20-22	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 一郎		印
連帯保証人 (親権者)	住所	〒	同上	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 父朗		印

下記のとおり奨学金の返還期限の猶予を受けたいので申請します。

#### 記

返還猶予事由 (いずれかを○で囲む)	在学・災害・傷病・外国留学等・生活保護・進学準備中 就職活動中・ <b>低収入</b> ・産育休中・その他( )
返還猶予申請期間 (返還方法を○で囲み 回数を記入のこと)	年賦 × 2 回分 ( <u>2019</u> 年 1 月 ~ 2019 年 12 月 ) <b>半年賦</b> ↑ 次回返還年月
理由 (返還猶予事由に 該当する状況を 記入のこと。)	<b>低収入により返還が困難なため。</b> <b>※所得を証明できる書類(直近の所得証明書、源泉徴収票 または最近1年分の給与支払証明書等)を添付して申請し てください。</b>

※1 この猶予願は、次回返還期日の2ヵ月前まで(在学猶予の場合は原則として4月中)に提出してください。

※2 返還猶予事由が「その他」の場合には、事前に事業団に相談してください。

※3 返還猶予申請期間は、返還期日の何回分かを記入してください。

猶予期間は、通常1年以内(年賦の場合は1回分、半年賦の場合は2回分)ですが、在学猶予の場合には在学期間(4年制大学の場合は4年間=年賦の場合は4回分、半年賦の場合は8回分)の猶予が可能です。

※4 添付書類として、猶予事由を証明できるものを添付してください。

※ご記入いただいた情報は奨学金貸与業務(返還業務を含む)のみに利用いたします。

(別記様式第26号)

### 奨学金返還猶予願(記入例)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

公益財団法人群馬県教育文化事業団理事長 あて

本人	奨学生番号	123-45-678910		
	出身学校名	群馬県立赤城高等	学校	普通科
	住所	〒371-0801	前橋市文京町2-20-22	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 一郎		(印)
連帯保証人 (親権者)	住所	〒	同上	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 父朗		(印)

下記のとおり奨学金の返還期限の猶予を受けたいので申請します。

#### 記

返還猶予事由 (いずれかを○で囲む)	在学・災害・傷病・ <b>外国留学等</b> ・生活保護・進学準備中 就職活動中・低収入・産育休中・その他( )
返還猶予申請期間 (返還方法を○で囲み 回数を記入のこと)	年賦 × 2 回分 ( <b>2019</b> 年 1 月 ~ 2019 年 12 月 ) <b>半年賦</b> ↑ 次回返還年月
理由 (返還猶予事由に 該当する状況を 記入のこと。)	<b>〇〇国の〇〇学校へ〇〇留学のため。</b> <b>※留学等を証明できる書類を添付して申請してください。</b>

※1 この猶予願は、次回返還期日の2ヵ月前まで(在学猶予の場合は原則として4月中)に提出してください。

※2 返還猶予事由が「その他」の場合には、事前に事業団に相談してください。

※3 返還猶予申請期間は、返還期日の何回分かを記入してください。

猶予期間は、通常1年以内(年賦の場合は1回分、半年賦の場合は2回分)ですが、在学猶予の場合には在学期間(4年制大学の場合は4年間=年賦の場合は4回分、半年賦の場合は8回分)の猶予が可能です。

※4 添付書類として、猶予事由を証明できるものを添付してください。

(別記様式第26号)

### 奨学金返還猶予願(記入例)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

公益財団法人群馬県教育文化事業団理事長 あて

本人	奨学生番号	123-45-678910		
	出身学校名	群馬県立赤城高等	学校	普通科
	住所	〒371-0801	前橋市文京町2-20-22	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 一郎		印
連帯保証人 (親権者)	住所	〒	同上	
	電話番号	000(000)0000	携帯	000(0000)0000
	氏名	赤城 父朗		印

下記のとおり奨学金の返還期限の猶予を受けたいので申請します。

#### 記

返還猶予事由 (いずれかを○で囲む)	在学・災害 <b>傷病</b> ・外国留学等・生活保護・進学準備中 就職活動中・低収入・産育休中・その他( )
返還猶予申請期間 (返還方法を○で囲み 回数を記入のこと)	<b>年賦</b> × 1 回分 ( <u>2019</u> 年 1 月 ~ 2019 年 12 月 ) 半年賦 ↑ 次回返還年月
理由 (返還猶予事由に 該当する状況を 記入のこと。)	<b>〇〇(病名)により返還が困難なため。</b> <b>※診断書(療養期間、就業困難の旨の記載があるもの)などを添付してください。</b>

- ※1 この猶予願は、次回返還期日の2ヵ月前まで(在学猶予の場合は原則として4月中)に提出してください。
- ※2 返還猶予事由が「その他」の場合には、事前に事業団に相談してください。
- ※3 返還猶予申請期間は、返還期日の何回分かを記入してください。  
猶予期間は、通常1年以内(年賦の場合は1回分、半年賦の場合は2回分)ですが、在学猶予の場合には在学期間(4年制大学の場合は4年間=年賦の場合は4回分、半年賦の場合は8回分)の猶予が可能です。
- ※4 添付書類として、猶予事由を証明できるものを添付してください。

※ご記入いただいた情報は奨学金貸与業務(返還業務を含む)のみに利用いたします。